

八塚正晃 編著

西野正巳

吉田智聡

神宮司覚

中国安全保障レポート2025

台頭する グローバル・サウスと中国

著者一覧

八塚 正晃（やつつか・まさあき） 地域研究部中国研究室主任研究官

担当：序章、第1章、終章

主な業績：「中東の秩序再編に参画する『大国』中国の意図と実践」『東亜』2023年11月号、2-9頁；「『科学技術大国』中国はその力をどう使うのか——軍事・安全保障の側面を中心に」加茂具樹（編）『中国は『力』をどう使うのか』一藝社、2023年、198-208頁；「中国における革命外交と近代化の相克——1970年代の対外援助をめぐる政治過程」『中国研究月報』第96号、2022年9月、1-14頁。

西野 正巳（にしのみ・まさみ） 理論研究部政治・法制研究室長

担当：第2章・第1節

主な業績：「過激派——テロに対峙する政権と軍・警察——」横田貴之編著『シリーズ・中東政治研究の最前線4 エジプト』ミネルヴァ書房、2023年、195-221頁；「アラブ諸国とイスラエルの国交正常化の進展」防衛研究所編『東アジア戦略概観2022』インターブックス、2022年、40-63頁；「サラフ主義と『イスラム国』」菊地達也編著『図説 イスラム教の歴史』河出書房新社、2017年、115-127頁。

吉田 智聡（よしだ・ともあき） 理論研究部社会・経済研究室研究員

担当：第2章・第2節

主な業績：「イエメン・フーシー派の海上戦力とその発展——国家性の追求手段としての海上戦力」『海幹校戦略研究』第13巻第1号、2023年、39-56頁；「サウディアラビア・UAE 二国間関係の二面性——イエメン内戦と強国化政策を巡る競合主体化」『安全保障戦略研究』第4巻第2号、2024年、139-155頁；「12月2日革命の失敗とイエメン国民抵抗軍の伸張——柔軟な生存戦略下での西海岸地域支配」『中東研究』第548号、2023年、94-104頁。

神宮司 覚（じんぐうし・あきら） 理論研究部政治・法制研究室主任研究官

担当：第3章

主な業績：「アフリカにおけるクーデタの再来と対テロ戦争」『安全保障戦略研究』第4巻第2号、2024年、157-175頁；「軍隊」落合雄彦（編）『アフリカ安全保障入門』晃洋書房、2019年、3-15頁；「アフリカにおける非対称的な安全保障課題と軍事力の役割」『法学研究』第92巻第1号、2019年、351-378頁。

編集部：林 浩一、切通 亮、田中 亮佑、五十嵐 隆幸、清岡 克吉、後藤 洋平、竹内 俊雅、
相田 守輝

中国安全保障レポート2025 台頭するグローバル・サウスと中国

令和6年（2024年）12月17日 第1刷発行

著者 八塚 正晃 西野 正巳 吉田 智聡 神宮司 覚

発行 防衛研究所

©2024 by the National Institute for Defense Studies

〒162-8808

東京都新宿区市谷本村町5番1号

<https://www.nids.mod.go.jp>

デザイン・DTP組版・印刷製本 株式会社インターブックス

ISBN 978-4-86482-135-3

Printed in Japan



NIDS China Security Report
2025